

但馬定住自立圏 共生ビジョン

変更：平成27年9月 14 日

変更：平成26年9月 12 日

変更：平成25年9月 12 日

策定：平成24年9月 20 日

兵庫県豊岡市

目 次

1	定住自立圏及び市町の名称	
(1)	定住自立圏の名称	1
(2)	圏域を構成する市町の名称	1
2	定住自立圏の概要	
(1)	趣旨	2
(2)	定住自立圏形成の目的	2
(3)	中心市と近隣市町	2
(4)	財政措置	2
3	定住自立圏共生ビジョンの期間	3
4	定住自立圏の将来像	
(1)	中心市の都市機能の集積状況	4
(2)	定住自立圏の将来像	5
	但馬区域	7
5	取組内容の全体像	8
6	具体的な取組内容	
(1)	生活機能の強化に係る政策分野	
ア	医療	9
イ	産業振興	14
ウ	環境	16
エ	防災	17
(2)	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	
ア	地域公共交通	18
イ	地域内外の住民との交流・移住促進	30
(3)	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	
ア	人材の育成	31

	豊岡市区域	．．．．．	3 2
7	取組内容の全体像	．．．．．	3 3
8	具体的な取組内容		
	(1) 生活機能の強化に係る政策分野		
	ア 医療	．．．．．	3 5
	イ 福祉	．．．．．	3 7
	ウ 教育	．．．．．	4 7
	エ 産業振興	．．．．．	5 4
	オ 観光	．．．．．	5 6
	カ 環境	．．．．．	5 8
	キ 防災・消防	．．．．．	6 0
	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野		
	ア 地域公共交通の確保	．．．．．	6 5
	イ 道路網の整備	．．．．．	6 7
	ウ 交流・移住促進	．．．．．	6 9
	(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野		
	ア 人材の育成	．．．．．	7 1

1 定住自立圏及び市町の名称

(1) 定住自立圏の名称

但馬定住自立圏

(2) 圏域を構成する市町の名称

ア 但馬区域：兵庫県豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町

イ 豊岡市区域：(合併1市 中心市：豊岡市)

兵庫県豊岡市（旧豊岡市、旧城崎町、旧竹野町、旧日高町、旧出石町、旧但東町）



2 定住自立圏の概要

(1) 趣旨

「定住自立圏構想」とは、人口減少、少子高齢化が進行する中で、地方圏において、安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、地方圏への人の流れをつくるために全国的に推進していく施策である。

(2) 定住自立圏形成の目的

ア 但馬区域

定住自立圏は、中心市と近隣市町が、自らの意思で1対1の協定を締結することを積み重ねる結果として、形成される圏域である。

中心市において圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備するとともに、近隣市町において必要な生活機能を確保するなど、互いに連携・協力することで、圏域全体の活性化を図ることを目的とする。

イ 豊岡市区域

中心地域（豊岡地域）において圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備するとともに、周辺地域（城崎地域、竹野地域、日高地域、出石地域、但東地域）において必要な生活機能を確保するなど、互いに連携・協力することで、圏域全体の活性化を図る。

(3) 中心市と近隣市町

中心市の要件は、人口5万人程度以上、昼間夜間人口比率が1以上の市で、但馬地域では豊岡市だけが該当（近隣では西脇市、鳥取市、福知山市が該当）。

近隣市町は、中心市と近接し、経済、社会、文化又は住民生活等において密接な関係を有する市町で、中心市に対する通勤通学割合が0.1以上であること等の要素も考慮して、関係市町で自主的に判断することができる。

（中心市要件比較）

	人口(人)			昼間夜間人口比率			総合 判定
	H12	H17	判定	H12	H17	判定	
豊岡市	92,752	89,208	○	1.02	1.02	○	○
養父市	30,110	28,306	×	1.00	1.01	○	×
朝来市	36,069	34,791	×	1.01	1.00	○	×

(4) 財政措置

定住自立圏構想の取組に対し、特別交付税、補助事業の優先採択、地域活性化事業債の充当などの財政措置が図られる。

3 定住自立圏共生ビジョンの期間

本ビジョンで示す具体的な取組の計画期間は、平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間とする。ただし、毎年度所要の見直しを行う。

4 定住自立圏の将来像

(1) 中心市の都市機能の集積状況

分野	都市機能	施設名等
医療	公的病院	公立豊岡病院、(公立豊岡病院日高医療センター、公立豊岡病院出石医療センター)
	休日診療所	市立休日急病診療所
	市内診療所	一般診療所 市立(4)、民間 34(23)、歯科診療所 19(14)
福祉	老人福祉施設等	養護老人ホーム 1(1)、特別養護老人ホーム 2(6)、軽費老人ホーム(3)、介護老人保健施設 1(1)、認知症高齢者グループホーム 5(9)、老人デイサービスセンター18(18)、(単独)老人短期入所施設 1(1)、老人福祉センター1(1)
	障害者支援施設等	北但広域療育センター、地域活動支援センター3(4)、グループホーム・ケアホーム 1(5)、生活訓練施設、旧法知的授産施設 2、通所・入所型障害福祉サービス事業者 14(10)ほか
教育・文化	短期大学	私立短期大学 1
	高等学校	県立高等学校 2(2)、私立高等学校 1
	大学校等	県立但馬技術大学校
	専修学校	専修学校 2
	特別支援学校	特別支援学校 1(1)
	図書館	市立図書館、(分館・・・城崎、竹野、日高、出石、但東)
	文化ホール等	市立豊岡市民会館、(市立出石文化会館)
	芸術・文化・交流・教育施設	但馬文教府、(市立城崎国際アートセンター)、豊岡稽古堂、豊岡市民プラザ
	博物館、資料館、美術館	(市立植村直己冒険館、市立歴史博物館「但馬国府・国分寺館」、市立美術館「伊藤清永記念館」、市立日本・モンゴル民族博物館、東井義雄記念館、歴史資料館 8)
	スポーツ・レクリエーション施設(美術館)	県立円山川公苑
	体育施設	(県立但馬ドーム)、総合体育館、豊岡総合スポーツセンター、円山川運動公園、(城崎ボートセンター、B&G 海洋センター2、植村直己記念スポーツ公園、出石総合スポーツセンター、但東スポーツ公園)ほか
	都市公園	(植村直己記念スポーツ公園)ほか
環境	環境学習施設	県立コウノトリの郷公園、コウノトリ文化館、ハチゴロウの戸島湿地
防災	防災施設	但馬広域防災拠点
交通	空港	県立但馬飛行場(コウノトリ但馬空港)
	主要鉄道駅	J R 豊岡駅、(J R 城崎温泉駅、J R 竹野駅、J R 江原駅) 京都丹後鉄道豊岡駅
	バス路線	全但バス(株)、市営バス イナカー、市街地循環バス コバス
	都市間バス	全但バス(株)特急バス 城崎⇄大阪、城崎⇄神戸、城崎⇄姫路
	国道	国道 178 号、国道 312 号、国道 426 号、国道 482 号
国・県の行政機関	国の機関	神戸地方裁判所豊岡支部、神戸家庭裁判所豊岡支部、豊岡簡易裁判所、豊岡検察審査会、国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所、豊岡特別地域気象観測所、近畿農政局豊岡地域センター、神戸地方法務局豊岡支局、神戸地方検察庁豊岡支部、豊岡税務署、但馬労働基準監督署、(環境省竹野自然保護官事務所)、自衛隊兵庫地方協力本部豊岡出張所ほか
	県の機関	但馬県民局、但馬教育事務所、豊岡こども家庭センター、(豊岡北警察署)、豊岡南警察署

※ () 内は、豊岡市旧 5 町に所在する施設。

（２）定住自立圏の将来像

ア 但馬区域

（ア）圏域の状況

但馬は、兵庫県北部に位置し、北は日本海、西は鳥取県、南は播磨地域及び丹波地域、東は京都府に隣接し、県土の約４分の１を占める広大な地域である。

豊かな自然環境に恵まれ、山陰海岸国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園及び４つの県立自然公園がある。水量豊かな円山川をはじめ竹野川、矢田川、岸田川などが日本海にそそいでいる。

山陰海岸ジオパークは、京都府から鳥取県にかけての東西約１１０キロメートルにかけて、貴重な地形・地質遺産が数多く形成されており、平成２０年に「日本ジオパーク」として認定を受け、平成２２年には、「世界ジオパークネットワーク」への加盟が認定された。

古代の但馬は、「天日槍」の渡来伝説との関係が深く、日本の文化・経済の表玄関であったと言われている。奈良時代には、但馬地域も但馬国となり、その中心地が但馬国府として豊岡市日高町に置かれたほか、江戸時代には、出石・豊岡・村岡に藩が、生野銀山には代官所が置かれた。さらには、竹野、香住などが西まわり北前船の寄港地として栄えた。

明治４年に但馬・丹後・丹波の一部で構成する豊岡県が成立し、明治９年には兵庫県に編入され、今日に至っている。

（イ）圏域の将来像

平成６年に開催した「但馬・理想の都の祭典」では、圏域の住民だけでなく、但馬を訪れる人々とも、共に安らぎや感動、共に生きる喜びを分かち合える「交流と共生の理想の都」づくりを進めてきた。この祭典を機に、但馬１市１８町は広域行政事務組合を設立して、但馬空港の利用促進をはじめ、魅力ある多様な資源を活用して特色のある取組を連携して進めている。

その後、但馬１市１８町は合併を進め、豊岡市・養父市・朝来市・香美町・新温泉町の３市２町へと再編され、但馬が抱える課題の解決に向けて連携を強化している。

しかし、人口減少、少子高齢化は止まることなく進んでおり、税収の減少や地域経済の縮小によって各市町の財政はますます厳しさを増し、行政サービスの維持などの課題が山積している。特に周産期医療については、圏域病院の医師確保が危機的な状況にあり、但馬で安心して出産ができる体制を確立することが、大きな課題となっている。

このような状況を踏まえ、豊岡市と但馬の各市町は、「交流と共生」の理念を今後の但馬の活性化の基礎とし、圏域住民が生き生きと暮らせる活力あふれる但馬づくりを引続き進めるものとする。

○自然とともに暮らせる圏域

広大かつ多様な自然に抱かれながら、環境にやさしい地域づくりに取り組み、歴史や文化、風土を活かしながら、圏域住民が生き生きと暮らせる「潤いと安らぎに満ちた」圏域づくりを進める。

○安心安全に暮らせる圏域

少子高齢化が進む中で圏域住民が健康で安心して生活を営み、将来も住み続けたいと感じ

られる圏域を目指し、周産期医療施設や通院・通学の移動手段などの生活基盤の整備を進める。

○賑わいと交流の圏域

山陰海岸ジオパークをはじめ豊かな自然環境、地域資源を活かして圏域の魅力を高め、全国から交流人が訪れる活力ある圏域づくりを進める。

また、京阪神や環日本海地域を結ぶ高規格道路の早期実現に向けた取組、鉄道や「東京直行便」に向けた但馬空港の利用促進を進め、交流の基盤整備を進める。

イ 豊岡市区域

(ア) 圏域の状況

豊岡市は、平成 17 年 4 月 1 日、兵庫県の北東部に位置する 1 市 5 町（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）が合併したまちで、約 698 平方キロメートルと県下最大の面積を有している。

平成 17 年 9 月には、国指定の特別天然記念物・コウノトリが自然放鳥され、平成 19 年 5 月には、国内の自然界では 43 年ぶりにヒナが誕生するなど、人里で野生復帰を目指す世界的にも例がない壮大な取組が着実に進んでいる。

産業は、農林水産業、観光業などが盛んで、特に観光業では、木造 3 階建ての旅館を有し、和風情緒の街並みが残る“奇跡の温泉街”と評価を受けた城崎温泉をはじめ、西日本屈指の神鍋高原スキー場、但馬の小京都・出石城下町などを有し、年間の観光客は 500 万人以上にのぼっている。また、地場産業としては、全国 4 大産地の一つである「かばん」や国の伝統的工芸品「出石焼」などの生産が行われている。

しかしながら、人口減少や集落機能の低下によるコミュニティの維持の困難に直面しつつあり、近い将来、消費がますます縮小するなど地域経済が負の循環に陥ることが懸念される。また、国からの地方交付税や国庫補助金などが大幅に削減され、地方経済に大きな影響を及ぼすことが危惧される。

さらに、経済のグローバル化が進み、企業間・地域間競争を余儀なくされ、地域経済は、ますます厳しさを増している。

(イ) 圏域の将来像

平成 24 年 3 月に策定した後期基本計画において、「いのちへの共感」の理念を市のまちづくりの根底に位置付け、豊岡は地方の小さなまちであっても、世界の人々から尊敬され、尊重される「小さな世界都市」を目指し、さまざまな取組を進めるものとする。

新たな戦略として、環境を良くすることによって経済が活性化し、行動がさらに広がるという「環境と経済の共鳴」の実現に向けた経済成長戦略に取り組んでおり、環境都市「豊岡エコバレー」を目指すものとする。

また人口減少下においても、より多くの人々が豊岡を訪れる「大交流」を進め、地域経済の活性化に向けて更に取り組み、中心地域と周辺地域が相互に役割を分担し連携を図りながら、まちの将来像「コウノトリ悠然と舞う ふるさと」を目指して、市民がふるさとに魅力と自信を持ち、いのちへの共感を持って暮らせる圏域を形成することとする。

但馬区域

5 取組内容の全体像

視 点	施策分野	連携施策	事 業
(1)生活機能の強化に係る政策分野	ア 医療	(ア)医療体制の確保	緊急医師確保対策就業支度金貸与事業、医師修学資金貸与事業
		(イ)周産期医療体制及びネットワークの整備	周産期医療センターの整備、周産期医療ネットワークの構築
		(ウ)救急医療体制の充実	ドクターカー運行事業、小児救急医療電話相談事業
	イ 産業振興	(ア)観光の振興	山陰海岸ジオパーク推進事業
		(イ)農作物被害防止対策等の推進	有害鳥獣対策事業
	ウ 環境	(ア)循環型社会の構築	北但ごみ処理施設整備事業
	エ 防災	(ア)防災力の向上	災害時相互応援体制の強化
(2)結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	ア 地域公共交通	(ア)但馬空港の利用促進	但馬空港利用促進事業
		(イ)地域公共交通の利用促進	鉄道交通対策事業、広域的な移動手段であるバス路線の確保
	イ 圏域内外の住民との交流・移住促進	(ア)独身男女の出会いの機会の提供	出会いの機会の提供の連携事業
(3)圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	ア 人材の育成	(ア)圏域の職員育成	職員研修事業

6 具体的な取組内容

生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

(ア) 医療体制の確保

【形成協定の内容】

取組内容	圏域の医療体制を維持するため、公的医療機関等の医師など、医療資源の確保に向けた取組を行う。
甲の役割	(1) 乙や関係市町等と連携し、医師、看護師などの確保に向けた取組を行うとともに、取組の調整を図る。 (2) 乙や関係市町等と連携し、適正受診の啓発や、医療情報の提供のための取組を行うとともに、取組の調整を図る。 (3) 乙と連携し、医師確保のために必要な支援を行う。
乙の役割	(1) 甲や関係市町等と連携し、医師、看護師などの確保に向けた取組を行う。 (2) 甲や関係市町等と連携し、適正受診の啓発や、医療情報の提供のための取組を行う。 (3) 甲と連携し、医師確保のために必要な支援を行う。

※甲とは豊岡市を、乙とは近隣市町をいう。

【具体的な取組内容】

事業名	緊急医師確保対策就業支度金貸与事業					実施地域
事業概要	地域内の公立病院において、特に不足する診療科の医師確保を図るため、新たに赴任する医師へ就業支度金を貸与する。					豊岡市・朝来市
成果	就業支度金を貸与することにより医師を確保し、医療の崩壊防止と市民の健康で安心な暮らしを守る。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	5,812	16,000	16,000	16,000	16,000	69,812
豊岡市	4,000	10,000	10,000	10,000	10,000	44,000
朝来市	1,812	6,000	6,000	6,000	6,000	25,812
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
公立豊岡病院組合を構成する豊岡市及び朝来市が連携し、必要な資金を負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	医師修学資金貸与事業					関係市町名
事業概要	公立豊岡病院組合の構成市である豊岡市と朝来市が資金を拠出し、地元出身の医学生に修学資金を貸与する。					豊岡市・朝来市
成果	公立豊岡病院組合の医師の養成と確保を図る。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	150,000
豊岡市	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	112,500
朝来市	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	37,500
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
公立豊岡病院組合を構成する豊岡市及び朝来市が連携し、資金に必要な費用を負担する。 (負担割合：豊岡市 3/4、朝来市 1/4)						

(イ) 周産期医療体制及びネットワークの整備

【形成協定の内容】

取組の内容	公立豊岡病院に、周産期医療センターを整備するとともに、運営体制等と併せて機能の充実を図る。 南但馬の分娩体制を維持するため、公立八鹿病院と公立豊岡病院との周産期医療ネットワークの構築に向けた検討を行う。
甲の役割	(1) 乙や関係市町等と連携し、圏域のハイリスク患者に対応する周産期医療センターを整備するために必要な費用を負担するとともに、取組の調整を図る。 (2) 乙や関係市町等と連携し、圏域の周産期医療ネットワークの構築に向けた検討を行うとともに、取組の調整を図る。
乙の役割	(1) 甲や関係市町等と連携し、圏域のハイリスク患者に対応する周産期医療センターを整備するために必要な費用を負担する。 (2) 甲や関係市町等と連携し、圏域の周産期医療ネットワークの構築に向けた検討を行う。

【具体的な取組内容】

事業名	但馬こうのとり周産期医療センターの整備					関係市町名
事業概要	圏域内では産婦人科医師の不足が深刻化し、圏域住民への産科医療の提供に重大な支障を来している。そのため、関係市町長・大学医学部・医師会長・病院長及び兵庫県の参画を得て、公立豊岡病院組合を事務局として平成23年度に取りまとめられた「但馬こうのとり周産期医療センター検討会議 報告書」に従い、但馬全体のハイリスク患者に対応するため、但馬こうのとり周産期医療センターを整備する。					豊岡市・養父市・朝来市・香美町
成果	圏域内における産科及び周産期医療体制の安定的な体制が確保され、安心して子どもを産み育てられる環境が整う。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	2,078	83,328	638,005	5,647	—	729,058
豊岡市	1,230	69,888	535,101	3,342	—	609,561
養父市	339	5,376	41,162	922	—	47,799
朝来市	297	4,704	36,016	807	—	41,824
香美町	212	3,360	25,726	576	—	29,874
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域医療再生基金						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町が協議し、周産期医療センターを整備するために必要な費用の一部を負担する。						

※事業費は、関係市町の負担金の合計額。

【具体的な取組内容】

事業名	周産期医療ネットワークの構築					関係市町名
事業概要	周産期医療体制を確立するため、分娩施設及び周産期医療体制の病病間ネットワーク構築に向けた取組を行う。					豊岡市・養父市・朝来市・香美町
成果	圏域内における産科及び周産期医療体制の安定的な病病間ネットワークの構築が図られる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
豊岡市						
養父市						
朝来市						
香美町						
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町等が連携し、病病間のネットワーク構築について取組を行う。						

(ウ) 救急医療体制の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	ドクターカーの安定的な運行により、圏域の救命率の向上及び後遺症の軽減を図る。 また、圏域に小児救急医療電話相談を共同で設置し、症状に応じた適切な対処方法、受診への助言等を行う。
甲の役割	(1) 乙や関係市町等と連携し、ドクターカーの安定的な運行に取り組むとともに、運行に必要な費用を負担する。 (2) 乙や関係市町等と連携し、小児救急医療電話相談を設置するとともに、運営に必要な費用を負担する。
乙の役割	(1) 甲や関係市町等と連携し、ドクターカーの安定的な運行に取り組むとともに、運行に必要な費用を負担する。 (2) 甲や関係市町等と連携し、小児救急医療電話相談を設置するとともに、運営に必要な費用を負担する。

【具体的な取組内容】

事業名	ドクターカー運行事業					関係市町名
事業概要	ドクターカーを配備し、医師・看護師を同乗させ、救急医療を実施する。					全市町
成果	ドクターカーの安定的な運行により、圏域内救命率の向上及び後遺症の軽減が図られる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	17,008	20,962	24,089	24,100	24,100	110,259
豊岡市	8,247	9,176	11,741	11,522	11,522	52,208
養父市	2,617	2,911	3,276	3,407	3,407	15,618
朝来市	3,548	3,948	4,032	4,225	4,225	19,978
香美町	2,596	2,888	2,980	2,780	2,780	14,024
新温泉町	—	2,039	2,060	2,166	2,166	8,431
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町等は連携し、ドクターカーの安定的な運行に取り組むとともに、運行に必要な費用を按分して公立豊岡病院組合への負担金として支出する。						

※事業費は、関係市町の負担金の合計額。

【具体的な取組内容】

事業名	小児救急医療電話相談事業					関係市町名
事業概要	但馬地域を対象とする小児患者の電話相談に対応するため、小児科医師によるバックアップ体制のもと、看護師が小児救急患者家族からの子どもの急病者疾病に関する電話相談を受け、受診の必要性や応急処置をアドバイスするとともに、症状に応じた適切な医療機関の紹介を行う。					全市町
成果	# 8 0 0 0 が全国統一電話番号で兵庫県下全域を対象に実施されているが、電話がつながりにくいことがあるため、地域に電話相談窓口を開設することにより緩和を図るとともに地域に密着した医療情報を提供することができる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	746	774	708	708	708	3,678
豊岡市	401	386	351	351	351	1,840
養父市	111	105	105	82	82	485
朝来市	147	140	125	145	145	702
香美町	87	79	70	81	81	398
新温泉町	—	64	57	66	66	253
国県補助事業等の名称、補助率等						
小児救急医療電話相談窓口運営費補助金（補助率 2/3）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町等は連携し、小児救急医療電話相談事業に取り組むとともに、運営に必要な費用を按分して拠出する。						

※事業費は、関係市町の負担金の合計額。

イ 産業振興

(ア) 観光の振興

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域の貴重な地球活動遺産である山陰海岸ジオパークを保護・保全するとともに、一層のPRに努め、特有の地域資源を活用した観光の振興を図る。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、ジオパーク活動に取り組み、観光の振興を図るとともに、必要な費用を負担する。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、ジオパーク活動に取り組み、観光の振興を図るとともに、必要な費用を負担する。

【具体的な取組内容】

事業名	山陰海岸ジオパーク推進事業					関係市町名
事業概要	世界加盟認定を受けた山陰海岸ジオパークを保護・保全するとともに、地球環境と生態系や文化との関連がわかる公園として知識欲を満たす観光や教育旅行として活用する。					豊岡市・香美町 ・新温泉町
成果	見るだけの観光から体験及び学習を伴う観光として満足度が上がり、リピーターとしての再訪問が期待できるとともに、ジオパークという新たな素材による観光振興につながる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	47,416	55,940	66,030	52,241	105,692	327,319
豊岡市	33,187	34,858	45,162	31,549	85,000	229,756
香美町	14,229	14,142	11,614	11,196	11,196	62,377
新温泉町	—	6,940	9,254	9,496	9,496	35,186
国県補助事業等の名称、補助率等						
ジオガイド業務：緊急雇用就業機会創出基金（国 10/10） 散策モデルコース案内板整備：平成 24 年度但馬県民局地域の夢推進事業費補助金 山陰海岸ジオパーク拠点施設等整備事業（県 10/10）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市は、関係市町等と連携して事業の推進を図るとともに、関係市町等で構成される山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局へ必要に応じ職員派遣を行う。 関係市町は、豊岡市等と連携して事業の推進を図るとともに、派遣の規則を基に協議会への職員派遣を行う。 協議会の運営に必要な費用は関係市町等が按分して負担、それ以外に必要な費用は関係市町がそれぞれに負担し、地域におけるジオパーク活動を推進する。						

(イ) 農作物被害防止対策等の推進

【形成協定の内容】

取組の内容	野生動物による農作物の被害を防止するため、圏域における被害防止対策を推進する。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、野生動物防護柵の設置や地元猟友会による有害鳥獣捕獲のための支援等を行う。また、圏域外との被害防止対策の情報交換を行い、取組の調整を図る。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、野生動物防護柵の設置や地元猟友会による有害鳥獣捕獲のための支援等を行う。また、圏域外との被害防止対策の情報交換を行う。

【具体的な取組内容】

【資料】関係市町名

事業名	有害鳥獣対策事業					関係市町名	
事業概要	野生動物（シカ、イノシシ、サル等）による農作物の被害を防止するため、国・県補助事業を有効に活用し、野生動物防護柵の設置や地元猟友会による有害鳥獣捕獲のための支援等を行う。また、圏域を越えた被害防止対策の情報交換等について検討する。					豊岡市・養父市	
成果							
野生動物による農作物の被害防止と有害鳥獣個体の減少が確立され、農業者の耕作意欲の向上と遊休農地の解消に繋がる。							
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計	
	190,670	203,087	217,087	237,191	237,191	1,085,226	
豊岡市	147,300	147,000	161,000	166,179	166,179	787,658	
養父市	43,370	56,087	56,087	71,012	71,012	297,568	
国県補助事業等の名称、補助率等							
鳥獣被害防止総合対策事業（国ソフト：50%、ハード50～85%）							
野生鳥獣侵入防止柵等整備事業（県12%）							
シカ有害捕獲促進支援事業（県10%）、狩猟期シカ捕獲拡大事業（県13%）							
シカ有害捕獲専任班支援事業（県13%）							

ウ 環境

(ア) 循環型社会の構築

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域の廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ること及び循環型社会の構築に寄与することを目的としてごみ処理施設を整備する。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、ごみ処理施設の整備の促進を図るとともに、整備及び運営に必要な費用を負担する。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、ごみ処理施設の整備の促進を図るとともに、整備及び運営に必要な費用を負担する。

【具体的な取組内容】

事業名	北但ごみ処理施設整備事業（負担金）					関係市町名
事業概要	圏域内の廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、循環型社会の構築に寄与する北但ごみ処理施設を整備するとともに、整備後は適正に運営を行う。					豊岡市・香美町 ・新温泉町
成果	圏域内の廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることにより、循環型社会の構築に寄与する。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	257,696	764,216	737,634	4,645,426	1,809,646	8,214,618
豊岡市	199,865	496,602	479,329	3,018,686	1,175,943	5,370,425
香美町	57,831	143,693	138,695	873,466	340,262	1,553,947
新温泉町	—	123,921	119,610	753,274	293,441	1,290,246
国県補助事業等の名称、補助率等 循環型社会形成推進交付金（国 1/3、1/2）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え 関係市町は連携して施設整備の推進を図るとともに、整備及び運営に必要な費用については関係市町が按分して北但行政事務組合の負担金として支出する。						

※事業費は、関係市町の負担金の合計額。

エ 防災

(ア) 防災力の向上

【形成協定の内容】

取組の内容	大規模災害発生時における相互応援協定に基づき、圏域の応援体制の強化を図る。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、災害時における必要な資機材や物資の斡旋・提供、職員の派遣や被災者の受入れ等、応援体制の強化を図る。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、災害時における必要な資機材や物資の斡旋・提供、職員の派遣や被災者の受入れ等、応援体制の強化を図る。

【具体的な取組内容】

事業名	災害時相互応援体制の強化					関係市町名
事業概要	兵庫県及び市町相互間の災害時応援協定等に基づき、圏域内の応援体制を確立するとともに、関係市町がそれぞれに防災体制の強化や物資の備蓄等に努め、情報連携を積極的に行い、緊急時の迅速な対応に努める。					全市町
成果	圏域内各市町間の相互応援体制の整備・強化により、災害時における迅速な応急対策及び救援の実施が図られる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	11,665	6,470	9,048	6,401	6,101	39,685
豊岡市	5,109	2,400	5,800	3,000	2,700	19,009
養父市	3,600	600	600	600	600	6,000
朝来市	1,878	1,878	1,738	1,707	1,707	8,908
香美町	1,078	1,072	216	534	534	3,434
新温泉町	—	520	694	560	560	2,334
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は関係市町がそれぞれに負担する。						

（２）結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通

（ア）但馬空港の利用促進

【形成協定の内容】

取組の内容	コウノトリ但馬空港の一層の利用を促進するとともに、東京直行便の就航に向けての取組を強化する。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、運賃助成や広報活動等によりコウノトリ但馬空港の利用促進を進めるとともに、東京直行便の就航に向けて関係機関に対して積極的な働きかけを行う。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、運賃助成や広報活動等によりコウノトリ但馬空港の利用促進を進めるとともに、東京直行便の就航に向けて関係機関に対して積極的な働きかけを行う。

【具体的な取組内容】

事業名	但馬空港利用促進事業					関係市町名
事業概要	コウノトリ但馬空港の利用を促進するため、但馬空港発着の定期便を利用する圏域住民等を対象に航空運賃の一部を助成する。 広報宣伝活動などを実施し、より一層の但馬空港の利用促進を図るとともに、東京直行便の就航に向けての取組を強化する。					全市町
成果	但馬＝大阪間の既存路線の利用者が増加することにより、貴重な高速公共交通サービスが維持されるとともに、但馬＝東京（羽田）間の利用者が増加することで、但馬と首都圏との潜在需要を示し、東京（羽田）直行便の就航実現に寄与する。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	94,371	101,007	101,853	105,420	105,420	508,071
豊岡市	76,458	79,461	79,461	82,790	82,790	400,960
養父市	8,190	8,190	8,190	7,890	7,890	40,350
朝来市	5,137	5,137	5,137	5,137	5,137	25,685
香美町	4,586	4,400	4,456	4,993	4,993	23,428
新温泉町	—	3,819	4,609	4,610	4,610	17,648
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町は連携して利用促進を図るとともに、但馬空港推進協議会の運営に必要な費用は関係市町が按分して負担、それ以外の必要な費用は関係市町がそれぞれに負担する。						

(イ) 地域公共交通の利用促進

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内外の広域的な移動手段を確保するため、鉄道やバスの利用を促進するとともに、路線の運行維持に連携して取り組む。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、鉄道やバスの利用を促進するとともに、情報提供や情報の共有化を図り、圏域における課題等について検討を行うとともに、取組の調整を図る。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、鉄道やバスの利用を促進するとともに、情報提供や情報の共有化を図り、圏域における課題等について検討を行う。

【具体的な取組内容】

事業名	鉄道交通対策事業					関係市町名
事業概要	地域公共交通である鉄道の利用者を増加させるため利用促進事業に取り組むとともに、ＪＲ山陰本線・播但線の高速化に資する軌道改良等の輸送改善事業に必要な経費を負担する。					全市町
成果						
ＪＲ山陰本線・播但線の利便性快適性が向上するとともに、鉄道利用者の増加により日常生活を支える交通機関として鉄道輸送サービスが維持され、圏域内利用者及び観光客の移動手段が確保される。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	64,248	36,999	1,229	862	862	104,200
豊岡市	26,498	12,916	498	305	305	40,522
養父市	10,361	4,930	237	234	234	15,996
朝来市	15,186	7,181	262	177	177	22,983
香美町	12,203	5,750	20	20	20	18,013
新温泉町	—	6,222	212	126	126	6,686
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町は連携して利用促進に取り組むとともに、輸送改善事業に必要な費用については関係市町等が按分して負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 八鹿～江原～豊岡～城崎～日和山線					関係市町名
事業概要	但馬農業高校から八鹿駅を經由して公立豊岡病院、城崎地域、日和山を結ぶ路線バス（養父市と豊岡市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市・養父市
成果						
養父市や日高地域、城崎地域から公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	17, 151	18, 025	18, 016	18, 274	18, 274	89, 740
豊岡市	9, 656	10, 530	10, 530	10, 392	10, 392	51, 500
養父市	7, 495	7, 495	7, 486	7, 882	7, 882	38, 240
国県補助事業等の名称、補助率等						
国）地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2） 県）バス対策（国庫協調補助路線維持）費補助金（補助率 1/2 以内） 県）バス対策（県単独補助路線維持）費補助金（補助率 1/2 以内）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市及び養父市は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市が負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 出石～豊岡線					関係市町名
事業概要	出石地域から豊岡地域を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (出石地域・豊岡地域)
成果						
出石地域から公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	4,780	6,123	6,123	5,463	5,463	27,952
国県補助事業等の名称、補助率等						
国) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2） 県) バス対策（国庫協調補助路線維持）費補助金（補助率 1/3 以内又は 1/4 以内） 県) バス対策（県単独補助路線維持）費補助金（補助率 2/3 以内又は 1/2 以内）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 出石～奥藤線					関係市町名
事業概要	但東地域から出石地域を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (出石地域・但東地域)
成果						
但東地域と出石～豊岡線とを連結することによって、公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。						
事業費 (千円)	H24 5,021	H25 5,489	H26 5,489	H27 6,702	H28 6,702	計 29,403
国県補助事業等の名称、補助率等			国) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (補助率 1/2) 県) バス対策 (国庫協調補助路線維持) 費補助金 (補助率 1/3 以内又は 1/4 以内) 県) バス対策 (県単独補助路線維持) 費補助金 (補助率 2/3 以内又は 1/2 以内)			
関係市町の役割分担に係る基本的な考え			豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。			

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 出石～江原線・江原～豊岡線					関係市町名	
事業概要	出石地域と日高地域、日高地域と豊岡地域を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (出石地域・日高地域・豊岡地域)	
成果	出石地域から日高医療センターへの通院や買物、県立高校への通学、日高地域から出石地域の県立高校への通学や買物、日高地域から公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。						
事業費 (千円)	H24 4,510	H25 4,459	H26 4,459	H27 5,854	H28 5,854	計 25,136	
国県補助事業等の名称、補助率等							
国) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2） 県) バス対策（国庫協調補助路線維持）費補助金（補助率 1/3 以内又は 1/4 以内） 県) バス対策（県単独補助路線維持）費補助金（補助率 2/3 以内又は 1/2 以内）							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。							

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 豊岡～目坂・奥野線					関係市町名
事業概要	目坂地域、奥野地域から公立豊岡病院を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (豊岡地域)
成果						
目坂地域や奥野地域から公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	13,605	12,875	12,875	15,112	15,112	69,579
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 近大・戸牧団地～豊岡駅～コウノトリの郷公園線					関係市町名
事業概要	法花寺・下宮地域、戸牧地域から豊岡駅や公立豊岡病院を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (豊岡地域)
成果						
法花寺・下宮地域や戸牧地域から豊岡駅、公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。						
事業費 (千円)	H24 12, 553	H25 14, 537	H26 14, 537	H27 12, 265	H28 12, 265	計 66, 157
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 豊岡～竹野線					関係市町名	
事業概要	竹野地域から豊岡地域を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (豊岡地域・竹野地域)	
成果							
竹野地域から豊岡駅、公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。							
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計	
	4, 231	4, 236	4, 236	4, 298	4, 298	21, 299	
国県補助事業等の名称、補助率等							
国) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (補助率 1/2)							
県) バス対策 (国庫協調補助路線維持) 費補助金 (補助率 1/3 以内又は 1/4 以内)							
県) バス対策 (県単独補助路線維持) 費補助金 (補助率 2/3 以内又は 1/2 以内)							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。							

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 江原～神鍋線					関係市町名	
事業概要	神鍋地域から江原駅を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (日高地域)	
成果							
神鍋地域から江原駅、日高医療センターへの通院や買物、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。							
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計	
	7, 710	9, 075	9, 075	9, 032	9, 032	43, 924	
国県補助事業等の名称、補助率等							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。							

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 八鹿～井ノ坪・大屋・若杉・明延線					関係市町名
事業概要	養父市大屋町及び養父市建屋地域から八鹿駅を結ぶ路線バス（養父市大屋町及び養父市建屋地域と養父市八鹿町を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					養父市
成果						
南但馬地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院への通院、買物など、圏域住民の利便性の向上が図られる。						
事業費 (千円)	H24 20,713	H25 20,713	H26 21,572	H27 21,168	H28 21,168	計 105,334
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
養父市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 八鹿～養父～和田山～新井・生野線				関係市町名	
事業概要	朝来市生野町から八鹿駅を結ぶ路線バス（朝来市と養父市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。				養父市・朝来市	
成果						
南但馬地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院や私立県立高校などへの公共交通の利便性の向上が図られる。						
事業費 （千円）	H24	H25	H26	H27	H28	計
	15, 150	15, 150	16, 167	14, 915	14, 915	76, 297
養父市	7, 558	7, 558	8, 043	7, 943	7, 943	39, 045
朝来市	7, 592	7, 592	8, 124	6, 972	6, 972	37, 252
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2）						
兵庫県バス対策費補助金（補助率 2/3 又は 1/2）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
養父市及び朝来市は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市が負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 竹ノ内・白井・和田山駅～和田山医療センター・与布土・金浦・柴線					関係市町名
事業概要	朝来市山東町から和田山駅を結ぶ路線バス（朝来市と養父市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					朝来市
成果	朝来市山東地域の基幹路線を確保し、和田山駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	H24 9,732	H25 9,732	H26 10,070	H27 9,511	H28 9,511	計 48,556
国県補助事業等の名称、補助率等						
兵庫県バス対策費補助金（補助率 2/3 又は 1/2）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
朝来市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 黒川線					関係市町名
事業概要	朝来市生野町黒川から生野駅を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					朝来市
成果	朝来市生野地域と市街地への生活路線とであり、生野駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	H24 933	H25 933	H26 1,122	H27 1,892	H28 1,892	計 6,772
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
朝来市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 生野駅生野学園線					関係市町名
事業概要						朝来市
朝来市生野町栃原から生野駅を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。						
成果						
朝来市生野地域と市街地への生活路線とであり、生野駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。						
事業費 (千円)	H24 3,372	H25 3,372	H26 3,405	H27 5,067	H28 5,067	計 20,283
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
朝来市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 生野駅喜楽苑線					関係市町名	
事業概要	朝来市生野町奥銀谷地域から生野駅を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					朝来市	
成果	朝来市生野地域と市街地への生活路線とであり、生野駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。						
事業費 (千円)	H24 2,988	H25 2,988	H26 660	H27 2,897	H28 660	計 10,193	
国県補助事業等の名称、補助率等							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
朝来市が事業を実施し、費用を負担する。							

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 新井～井ノ坪・建屋線					関係市町名
事業概要	朝来市新井から八鹿駅を結ぶ路線バス（朝来市と養父市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					養父市・朝来市
成果						
南但馬地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院や私立県立高校などへの公共交通の利便性の向上を図る。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	2,474	2,474	2,443	2,660	2,660	12,711
養父市	1,656	1,656	1,609	1,757	1,757	8,435
朝来市	818	818	834	903	903	4,276
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
養父市及び朝来市は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市が負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 八鹿～湯村線					関係市町名
事業概要	八鹿駅から湯村温泉を結ぶ路線バス（養父市と新温泉町を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					養父市・香美町 ・新温泉町
成果						
養父市や温泉地域から公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	8,401	13,014	8,757	12,475	12,475	55,122
養父市	4,321	4,321	3,808	7,557	7,557	27,564
香美町	4,080	3,596	2,379	2,317	2,317	14,689
新温泉町	－	5,097	2,570	2,601	2,601	12,869
国県補助事業等の名称、補助率等						
県）バス対策（県単独補助路線維持）費補助金（補助率 2/3 以内）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
養父市、香美町及び新温泉町は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市町が負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 八鹿～石原線					関係市町名	
事業概要	養父市八鹿町石原から八鹿駅を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					養父市	
成果							
養父市小佐地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。							
事業費 (千円)	H24 4,504	H25 4,504	H26 4,504	H27 2,065	H28 2,065	計 17,642	
国県補助事業等の名称、補助率等							
地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2）							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
養父市が事業を実施し、費用を負担する。							

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 八鹿～村岡～秋岡線					関係市町名
事業概要	香美町村岡区から八鹿駅を結ぶ路線バス（香美町と養父市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					養父市・香美町
成果						
西但馬地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上を図る。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	15,431	15,759	13,680	13,571	13,571	72,012
養父市	10,563	10,653	10,874	10,801	10,801	53,692
香美町	4,868	5,106	2,806	2,770	2,770	18,320
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
養父市及び香美町は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市町が負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 出石～八鹿線					関係市町名
事業概要	豊岡市出石町から八鹿駅を経由して公立八鹿病院や但馬農業高校を結ぶ路線バス（豊岡市と養父市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市・養父市
成果						
豊岡市出石・但東地域と養父市を結ぶ基幹路線を確保し、出石医療センターや公立八鹿病院への通院や買物、県立但馬農業高校への通学など、公共交通の利便性の向上を図る。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	4,350	4,401	4,641	4,508	4,508	22,408
豊岡市	800	851	851	903	903	4,308
養父市	3,550	3,550	3,790	3,605	3,605	18,100
国県補助事業等の名称、補助率等						
国）地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2） 県）バス対策（国庫協調補助路線維持）費補助金（補助率 1/3 以内又は 1/4 以内） 県）バス対策（県単独補助路線維持）費補助金（補助率 2/3 以内又は 1/2 以内）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市及び養父市は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市が負担する。						

【具体的な取組内容】

事業名	路線バス 八鹿駅 ～ 鉢伏					関係市町名
事業概要	養父市八鹿駅から鉢伏を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					養父市
成果						
養父市旧八鹿町・旧関宮町地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	9,454	9,454	13,520	12,985	12,985	58,398
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
養父市が事業を実施し、費用を負担する。						

イ 圏域内外の住民との交流・移住促進

(ア) 独身男女の出会いの機会の提供

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内外の独身男女の出会いの機会等を提供する事業に取り組む。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、効果的な事業の企画・運営を行うとともに、取組の調整を図る。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、効果的な事業の企画・運営を行う。

【具体的な取組内容】

事業名	出会いの機会の提供の連携事業					関係市町名
事業概要	圏域に居住し結婚を望む適齢期の男女に、圏域内外の異性との出会いの機会などを提供する。					全市町
成果						
婚姻数の増加により、定住人口を増やすことができる。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	2,100	3,665	7,058	8,598	4,479	25,900
豊岡市	500	586	4,119	4,119	—	9,324
養父市	—	—	—	1,000	1,000	2,000
朝来市	600	1,200	1,200	1,810	1,810	6,620
香美町	1,000	1,000	800	800	800	4,400
新温泉町	—	879	939	869	869	3,556
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町は連携して事業の企画・運営を図るとともに、事業の広報、事業に必要な費用は、それぞれの市町が負担する。						

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア 人材の育成

(ア) 圏域の職員育成

【形成協定の内容】

取組の内容	新たな行政ニーズへの対応や法制執務能力の向上を目的として、圏域の職員を対象に研修を実施する。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、新任職員研修や各種特別研修に取り組むとともに、必要な費用を負担する。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、新任職員研修や各種特別研修に取り組むとともに、必要な費用を負担する。

【具体的な取組内容】

事業名	職員研修事業					関係市町名
事業概要	圏域内の職員を対象に、新たな行政ニーズや法制執務の高度化に対応するための研修に必要な経費を負担するとともに、研修に対し積極的に職員を派遣する。					全市町
成果	個々の行政能力が向上し、圏域内の総合力が高められる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	—	—	—	—	—	—
豊岡市	—	—	—	—	—	—
養父市	—	—	—	—	—	—
朝来市	—	—	—	—	—	—
香美町	—	—	—	—	—	—
新温泉町	—	—	—	—	—	—
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町は事業費を按分して但馬広域行政事務組合の負担金として支出する。						

豊岡市区域

7 取組内容の全体像

視 点	施策分野	連携施策	事 業
(1)生活機能の強化に係る政策分野	ア 医療	(ア)医療環境の充実	市立診療所の充実、休日急病診療所の利用促進
	イ 福祉	(ア)健康づくりの推進	歩いて暮らすまちづくり構想の推進、総合健康ゾーン運営事業、総合健康ゾーン診療所運営事業
		(イ)安心して暮らせる地域社会の構築	災害時要援護者登録制度の取組強化、サービス提供事業者とのネットワークの整備
		(ウ)高齢者福祉の充実	高齢者見守りネットワークの構築、養護老人ホームへの措置
		(エ)障害者福祉の充実	地域生活支援事業、障害者自立支援事業、障害者基幹相談支援センター（旧障害者虐待防止センター）の設置、身体障害者等相談員の設置
	ウ 教育	(ア)教育環境の充実	「学校給食施設のあり方計画」推進事業
		(イ)生涯学習の推進（公民館）	地区公民館整備事業、地区公民館活動事業
		(ウ)生涯学習の推進（図書館）	図書整備事業、図書館普及啓発事業、読み聞かせ推進事業
		(エ)子育て環境の充実	子育てセンター運営事業、認定こども園整備事業
	エ 産業振興	(ア)経済全体の活性化や持続性の確保	技術革新等支援事業、労働力確保支援事業
	オ 観光	(ア)観光の振興	観光資源整備・活用事業、体験・滞在型観光システム整備事業
	カ 環境	(ア)環境保全への取組	コウノトリ野生復帰事業、コウノトリ生息地保全対策事業
	キ 防災・消防	(ア)防災力・減災力の向上	自主防災育成対策事業、防災の資機材・津波避難経路等の整備支援、地理情報システム（GIS）の活用
		(イ)消防力の強化	消防救急デジタル無線設備の整備、高規格救急自動車の整備、消防ポンプ自動車の整備
		(ウ)本庁と支所の役割分担、連携強化	新庁舎建設推進事業

(2)結びつき やネットワ ークの強化 に係る政策 分野	ア 地域公共交通の 確保	(ア)バス交通の充実と利用促進	市営バス「イナカー」運行事業、 市街地循環型バス「コバス」運 行事業、地域主体の公共交通「チ クタク」運行事業
	イ 道路網の整備	(ア)道路環境の整備	幹線・生活道路整備事業、豊岡 市除雪機緊急整備事業
	ウ 交流・移住促進	(ア)定住の促進	定住促進事業、高校生通学定期 券の購入補助
(3)圏域マネ ジメント能 力の強化に 係る政策分 野	ア 人材の育成	(ア)圏域の職員育成	職員研修事業
			防災・危機管理研修事業

8 具体的な取組内容

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

(ア) 医療環境の充実

【形成方針の内容】

取組の内容	3次医療機関である公立豊岡病院、2次医療機関である日高医療センター・出石医療センター及び1次医療機関である市立診療所・開業医の機能分担と連携を図り、医師の確保と地域内の医療の充実を図る。 日曜・休日の1次救急医療を担う市立休日急病診療所の安定的な運営を図るとともに、利用を促進する。
中心地域	(1) 医師不足に対応するため、開業医による公立豊岡病院への診療応援や相互の患者紹介などの病診連携を促進する。 (2) 公立豊岡病院において特に不足する診療科の医師の確保を図る。 (3) 市立休日急病診療所の利用を促進する。
周辺地域	(1) 日高医療センター・出石医療センターにおける医師の確保を図る。 (2) 民間医療機関による医療の提供が困難な地域の医療体制を確保するため、市立診療所の充実を図る。 (3) 市立休日急病診療所の利用を促進する。

【具体的な取組内容】

事業名	市立診療所の充実						実施地域
事業概要	民間の医療機関の希薄な地域（へき地）の医療を確保するため、市立診療所を開設する。						竹野地域・ 日高地域・但東地域
成果	民間の医療機関の希薄な地域（へき地）において医療が確保され、必要とする医療を身近な地域で安心して受けられる。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計	
	169,221	169,221	261,595	238,261	238,261	1,076,559	
国県補助事業等の名称、補助率等							
県補助金 森本、神鍋、高橋診療所：「へき地診療所運営費補助金」							
地域間の役割分担に係る基本的な考え							
豊岡地域については、3次医療機関である公立豊岡病院において、市立診療所や開業医から重症患者を受け入れる。 竹野・日高・但東地域については、身近な医療機関である市立診療所や開業医において、かかりつけ医としての診療機能を提供する。							

【具体的な取組内容】

事業名	休日急病診療所の利用促進					実施地域
事業概要	日曜・祝日における一次救急医療体制を確保するため、豊岡市医師会と連携し、豊岡市立休日急病診療所を開設、運営する。					全豊岡市区域
成果						
一般の医療機関が休診する日曜・祝日において、市民の救急医療（内科・小児科）への対応が確保できる。						
事業費 (千円)	H24 15,913	H25 15,913	H26 16,093	H27 20,661	H28 20,661	計 89,241
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
全豊岡市区域の休日急病診療所との観点から、豊岡地域の医師だけでなく、周辺地域からも医師の派遣を受け休日急病診療所（中心地域）を運営する。						

イ 福祉

(ア) 健康づくりの推進

【形成方針の内容】

取組の内容	豊岡市歩いて暮らすまちづくり条例の理念に基づき、健康の視点を取り入れたまちづくりを進める。 また、総合健康ゾーンの利用を促進するとともに、他の既存施設の有効活用を図るなど、健康づくりの拠点の充実に努める。
中心地域	(1) 豊岡市歩いて暮らすまちづくり条例に基づき、事業を推進する。 (2) 総合健康ゾーン健康増進施設をより効果的に運営するとともに、地域内及び周辺地域の既存施設との連携を強化する。 (3) 総合健康ゾーン診療所において、運動療法を安全かつ効果的に実施することにより、個々に応じた健康増進を図る。
周辺地域	(1) 豊岡市歩いて暮らすまちづくり条例に基づき、事業を推進する。 (2) 総合健康ゾーン健康増進施設と、地域内の既存施設との連携を強化する。 (3) 総合健康ゾーン診療所において、運動療法を安全かつ効果的に実施することにより、個々に応じた健康増進を図る。

【具体的な取組内容】

事業名	歩いて暮らすまちづくり構想の推進					実施地域
事業概要	歩いて暮らすことを基本とした健康あふれるまちづくりに市民誰もが参加し、健康に生活を営むことのできる、少子高齢・人口減社会においても持続可能な新しい都市モデルを構築する。 ①歩いて暮らすまちづくり構想に基づく事業の実施 ②地域活性化総合特区 ③笑顔あふれる健康マイレージ「健康・環境ポイント制度」 ④健康づくり推進モデル事業					全豊岡市区域
成果	生活習慣病や要介護の予防を可能とし、少子高齢化・人口減少社会においても持続可能な新しい都市モデルを構築する。					
事業費 (千円)	H24 2,150	H25 2,150	H26 17,182	H27 15,203	H28 15,203	計 51,888
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
歩いて暮らすまちづくり構想に基づき、全豊岡市区域において健康ポイント制度の普及、創設、ウォーキングロードの整備、健康づくり推進モデル事業などを進め、健康づくりの行動を起こしにくい市民にも健康に関心を持ってもらい、行動に結び付く事業展開を図る。						

【具体的な取組内容】

事業名	総合健康ゾーン運営事業					実施地域
事業概要	全ての市民が生涯を通じて健康づくりに取り組み、健康でいきいきとした暮らしを実現するための施設として、総合健康ゾーンを整備。健康増進施設の維持管理・運営を民間事業者が指定管理者として携わり、より効率的、機能的運営を行う。 本施設のトレーニングジム、スタジオ、プール等を活用し、市民の積極的な健康づくり活動を支援する。また、中心地域及び周辺地域の既存施設との連携を図り、市民の健康行動を支援する。					全豊岡市区域
成果	全ての市民が生涯を通じて健康づくりに取り組み、健康でいきいきとした暮らしを実現する。また、市民の継続的な利用により、市民一人ひとりの健康づくり活動が促進される。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	23,639	23,639	23,639	22,521	22,521	115,959
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域については、総合健康ゾーン健康増進施設を核とし、地域内の既存施設及び周辺地域の各健康福祉センター等と連携し、市民の特定保健指導及び介護予防事業などを含めて、市民の健康づくり活動を促進する。 周辺地域については、核である総合健康ゾーン健康増進施設と連携し、健康福祉センター等の既存施設において市民の特定保健指導及び介護予防事業などを含めて、市民の健康づくり活動を促進する。						

【具体的な取組内容】

事業名	総合健康ゾーン診療所運営事業					実施地域
事業概要	市民が運動施設や自宅等で行う安全で個人にあった運動を行えるよう、運動療法を行うための運動負荷試験を実施し、運動療法処方箋を作成する診療所を総合健康ゾーン健康増進施設「ウェルストーク豊岡」内に開設。運営については豊岡市医師会と連携して行う。					全豊岡市区域
成果	生活習慣病や要介護の予防、治療に効果的な運動療法を安全かつ効果的に実施できる。					
事業費 (千円)	H24 5,029	H25 5,029	H26 5,029	H27 4,361	H28 4,361	計 23,809
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域については、総合健康ゾーン診療所において、豊岡市医師会の診療への協力を受け、安全かつ効果的な運動療法を実施し、総合健康ゾーン健康増進施設を核として市民の健康づくり活動を支援する。 周辺地域については、総合健康ゾーン診療所の周知、利用促進に努め、健康福祉センター等の既存施設との連携を図り、市民の健康づくり活動を支援する。						

(イ) 安心して暮らせる地域社会の構築

【形成方針の内容】

取組の内容	すべての人々が住み慣れた地域で安心して生きいきと暮らせるよう、住民自らが支え合いながら問題の解決に取り組む「地域福祉力」の向上を目指す。 また、専門的な相談や適切な福祉サービスを利用できる体制の確立を図る。
中心地域	(1) 災害時要援護者登録制度を活用し、平時からの見守り活動など、災害時に向けた取組を通じて地域力の強化を図る。 (2) 近隣住民や民生委員・児童委員による声かけや見守りなどの活動を促進するとともに、サービス提供事業者との相談ネットワーク体制を整備し、要援護者に対する生活課題の早期発見に努める。
周辺地域	(1) 災害時要援護者登録制度を活用し、平時からの見守り活動など、災害時に向けた取組を通じて地域力の強化を図る。 (2) 近隣住民や民生委員・児童委員による声かけや見守りなどの活動を促進するとともに、相談ネットワーク体制を活用し、要援護者に対する生活課題の早期発見に努める。

【具体的な取組内容】

事業名	災害時要援護者登録制度の取組強化					実施地域	
事業概要	災害時に支援が確実に及ぶ実効的なものとするため、平成 24 年度から制度改正（避難行動要援護者と情報伝達等要援護者に区分）を行った。これに基づく台帳を地域支援者（区役員・民生委員・消防団）に提供し、災害時はもとより、日ごろから声かけ・見守り・訪問活動等、それぞれ実情に合った地域ぐるみの支援を進める。					全豊岡市区域	
成果							
地域支援者だけでなく、隣近所を含めた地域ぐるみの支援により、障害者や高齢者が住みなれた地域で暮らせる環境づくりが推進される。							
事業費 (千円)	H24 204	H25 204	H26 204	H27 204	H28 204	計 1,020	
国県補助事業等の名称、補助率等							
地域間の役割分担に係る基本的な考え							
豊岡地域においては、同制度を活用し、日ごろの見守り等、要援護者支援の取組を進める。周辺地域においても、同制度を活用し、日ごろの見守り等、それぞれの実情に合った要援護者支援の取組を進める。							

【具体的な取組内容】

事業名	サービス提供事業者とのネットワークの整備					実施地域
事業概要	サービス提供事業者は、それぞれ専門的なケースに対応でき、課題解決に結びつける知識と経験をもっている。これらの特性を活かすため、サービス提供事業者とのネットワークを整備し、要援護者に対する生活課題の早期発見に努める。					全豊岡市区域
成果	要援護者へのきめ細かな支援が繰り広げられ、障害者や高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせる環境づくりが推進される。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	—	—	—	—	—	—
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域においては、サービス提供事業者とのネットワークを整備し、要援護者に対する生活課題の早期発見に努める。周辺地域においても、このネットワークを活用し、要援護者に対する生活課題の早期発見に努める。						

(ウ) 高齢者福祉の充実

【形成方針の内容】

取組の内容	高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活ができるよう、高齢者福祉施策の推進を図る。
中心地域	(1) 民生委員・児童委員、地域住民、生活関連事業者などの協力を得ながら見守りのネットワークを構築する。 (2) 自立した生活が困難な高齢者の支援を行い、心身の状況、経済的な状況に基づき、施設への措置を行う。
周辺地域	(1) 民生委員・児童委員、地域住民、生活関連事業者などの協力を得ながら見守りのネットワークを構築する。 (2) 自立した生活が困難な高齢者の把握に努める。

【具体的な取組内容】

事業名	高齢者見守りネットワークの構築					実施地域
事業概要	従来の地域の方による見守りに加えて、生活関連事業者（新聞・牛乳配達業者、配食サービス業者、郵便局、介護保険事業者等）の協力を得て、普段の生活や仕事の中で高齢者の異変を察知する「気づきの目」を増やすことによって、地域全体で高齢者を見守り支えあい、高齢者が抱える問題等の早期発見・対応ができる体制を構築する。					全豊岡市区域
成果	各種事業者と連携することによって、高齢者の日常の細かな身体状況（認知症、高齢者虐待の早期発見、身体状況等）が把握でき、サービスを結びつけることが可能となる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	—	—	—	—	—	—
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
			豊岡地域は、各事業者との協定を行うとともに、地域住民や民生委員・児童委員、地域包括支援センターと連携し、高齢者見守りネットワークを構築する。 周辺地域は、地域住民や民生委員・児童委員、地域包括支援センターと連携し、高齢者見守りネットワークを構築する。			

【具体的な取組内容】

事業名	養護老人ホームへの措置					実施地域
事業概要	環境上の理由及び経済的理由により、在宅で養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームへ措置入所させる。					全豊岡市区域
成果						
措置入所により、支援を受けながら安心して安定した日常生活を送ることが可能になり、高齢者の福祉の向上につながる。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	225, 554	225, 554	225, 554	218, 514	218, 514	1, 113, 690
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え			豊岡地域（本庁）は、周辺地域（振興局）と連携して対象者の把握に努めるとともに、全豊岡市区域の措置入所に係る事務を行う。 周辺地域（振興局）は、対象者からの相談や状況把握を行い、豊岡地域（本庁）につなぎ対応を行う。			

(エ) 障害者福祉の充実

【形成方針の内容】

取組の内容	障害のある人が住み慣れた地域の中で自分らしい生活ができるよう、総合的・計画的な障害者福祉施策の推進を図る。
中心地域	(1) 保健、医療、教育、就労、移動・交通手段など、障害のある人が求める支援に適切に対応できるよう、サービスの充実を図る。 (2) 障害者虐待防止センター（※）を設置するとともに、障害者虐待の未然防止や早期発見、適切な支援を行うため、関係機関などの協力体制や相談支援体制の強化を図る。 (3) 身体障害者相談員、知的障害者相談員及び精神障害者相談員を活用し、障害のある人からの相談に応じ、必要な指導や助言を行い、障害者福祉の増進を図る。
周辺地域	(1) 中心地域と連携し、障害のある人が、住み慣れた地域で活動できるよう、環境づくりや事業者の新規参入などを支援する。 (2) 中心地域と連携し、障害者虐待の未然防止や早期発見、適切な支援を行うため、関係機関などの協力体制や相談支援体制の強化を図る。 (3) 身体障害者相談員、知的障害者相談員及び精神障害者相談員を活用し、障害のある人からの相談に応じ、必要な指導や助言を行い、障害者福祉の増進を図る。

（※）平成 26 年度に豊岡市障害者基幹相談支援センターを設置し、虐待防止業務を包括。

【具体的な取組内容】

事業名	地域生活支援事業					実施地域
事業概要	障害者が地域社会で自立生活ができるように、地域に応じた福祉サービス、相談事業を地域関係機関と連携して支援する。					全豊岡市区域
成果	福祉事務所の機能強化が図られ、各地域の特性に合わせたきめ細やかな福祉サービス・相談支援の充実が図られる。					
事業費 (千円)	H24 91,500	H25 92,500	H26 85,405	H27 81,290	H28 81,290	計 431,985
国県補助事業等の名称、補助率等						
障害者地域生活支援事業補助金（国 1/2 以内、県 1/4 以内）						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域については、豊岡市福祉事務所の機能強化を図るとともに、地域間格差が生じないよう、また、地域特性に応じたサービスができるよう、各地域福祉担当と連携強化を図る。 周辺地域については、福祉サービスの充実を図るため、事業等の周知を図る。						

【具体的な取組内容】

事業名	障害者自立支援事業					実施地域
事業概要	障害者が地域社会で自立生活ができるように、福祉サービス、相談事業を地域関係機関と連携して支援する。					全豊岡市区域
成果	関係機関が連携して取り組むことにより、福祉サービスにおいて、地域間格差が生じることなくサービスが行える。					
事業費 (千円)	H24 1,166,966	H25 1,281,214	H26 1,379,596	H27 1,469,058	H28 1,564,253	計 6,861,087
国県補助事業等の名称、補助率等						
障害者(児) 自立支援給付費(国 1/2、県 1/4)						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域については、豊岡市福祉事務所の機能強化を図り、地域間格差が生じないよう、各地域福祉担当と連携強化を図る。 周辺地域については、必要とする人がサービスを受けられるよう事業等の周知を図る。						

【具体的な取組内容】

事業名	障害者基幹相談支援センター（旧障害者虐待防止センター）の設置					実施地域
事業概要	地域の相談支援の拠点として、総合的な相談業務および「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」に掲げる業務等を行う障害者基幹相談支援センターを設置する。					全豊岡市区域
成果	地域の相談支援の拠点として、総合的な相談業務を行うとともに、虐待の未然防止のため、過去に虐待のあった家庭や障害者支援施設等に長期入所していた障害者が家庭復帰した家庭等に対し、障害者相談支援専門員等を重点的に訪問させることにより、家族関係の安定や不安の解消に向けた支援が可能となる。					
事業費 (千円)	H24 23,431	H25 22,941	H26 36,097	H27 34,959	H28 34,959	計 152,387
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域生活支援事業補助金（国 1/2 以内、県 1/4 以内）						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域については、豊岡市社会福祉協議会に委託し豊岡市福祉事務所に障害者基幹相談支援センター（旧障害者虐待防止センター）を開設し機能強化を図るとともに、地域間格差が生じないよう、また、地域特性に応じた支援等ができるよう、豊岡市社会福祉協議会本所・支所と連携強化を図る。 周辺地域については、障害者の虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援を行うためには、地域における関係機関等の協力体制が不可欠であることから、豊岡市障害者自立支援協議会等と連携し事業を推進する。						

【具体的な取組内容】

事業名	身体障害者等相談員の設置					実施地域
事業概要	身体障害者相談員、知的障害者相談員及び精神障害者相談員を活用し、障害のある人からの相談に応じ、必要な指導や助言を行う。					全豊岡市区域
成果	身近な地域の相談員として、また、自らの体験等を通じて得た知識を生かした相談活動を通じて、障害者福祉の増進を図ることができる。					
事業費 (千円)	H24 426	H25 426	H26 380	H27 371	H28 371	計 1,974
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え 豊岡地域については、相談事業の周知を図るとともに、相談に応じた対応ができるよう関係機関と連携し、相談支援体制の充実を図る。 周辺地域については、地域における相談に応じ、関係機関と連携して必要な指導や助言を行う。						

ウ 教育

(ア) 教育環境の充実

【形成方針の内容】

取組の内容	「学校給食施設のあり方計画」に基づき、豊岡、日高、出石の3施設への再編整備を行うとともに、地産池消の推進に努める。
中心地域	学校給食施設の再編を行うとともに、配食校の再編を行う。
周辺地域	出石学校給食センター及び但東学校給食センターを統合し、新たに出石学校給食センターを改築整備する。 また、施設の再編に合わせ、配食校の再編を行う。

【具体的な取組内容】

事業名	「学校給食施設のあり方計画」推進事業					実施地域
事業概要	「学校給食施設のあり方計画」に基づき、出石学校給食センターの改築、豊岡学校給食センターに炊飯施設を増設し、学校給食施設の再編を図る。					豊岡地域・出石地域・ 但東地域
成果	施設の再編・整備に伴い、安定的な提供や衛生管理がより徹底される。加えて、栄養士の複数配置によって、食育の充実を図ることができる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	523,188	716,556	18,712	—	—	1,258,456
国県補助事業等の名称、補助率等		学校施設環境改善交付金（国補助：基準額の1/3）				
地域間の役割分担に係る基本的な考え		豊岡地域については、「学校給食施設のあり方計画」に基づき施設再編を図り、施設間格差の解消に努めるため、豊岡学校給食センターに炊飯施設を増設する。また、施設の再編により配食校の再編を行う。 出石学校給食センター（出石地域）と但東学校給食センター（但東地域）を統合し、新たに出石学校給食センター（出石地域）を改築整備する。また、施設の再編により配食校の再編を行う。				

(イ) 生涯学習の推進（公民館）

【形成方針の内容】

取組の内容	地区公民館整備計画に基づき整備を進めるとともに、公民館活動の充実と公民館機能の強化を図る。
中心地域	中央公民館と各地区公民館が連携し、公民館活動やコミュニティ活動を促進する。
周辺地域	(1) 地区公民館の未整備地区を解消するため、地区公民館を計画的に整備する。 (2) 中央公民館と各地区公民館が連携し、公民館活動やコミュニティ活動を促進する。

【具体的な取組内容】

事業名	地区公民館整備事業					実施地域
事業概要	「地区公民館整備計画」に基づき、身近な学習拠点、地域コミュニティ拠点施設で、整備が残っている西気地区公民館（日高地域）の整備を進める					日高地域
成果	「公民館整備計画」に基づく公民館整備で、身近な学習拠点・地域コミュニティ拠点整備が図られ、地域防災拠点・避難所としても大きな役割を果たす。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	—	3,000	—	38,000	350,000	391,000
国県補助事業等の名称、補助率等			地域再生戦略交付金（国 1/2）			
地域間の役割分担に係る基本的な考え			日高地域については、中央公民館を中心に「地区公民館整備計画」に基づく西気地区公民館の整備を図る。			

【具体的な取組内容】

事業名	地区公民館活動事業					実施地域
事業概要	地域住民の学習拠点、コミュニティ拠点施設である地区公民館を活用し、住民の交流や学習、情報発信などを充実するとともに、コミュニティづくりや防災学習を進める。					全豊岡市区域
成果	住民が集う場となり、情報交換や学習活動が展開されるとともに、防災学習や訓練を実施するなど、多彩で活発な活動が図られる。					
事業費 (千円)	H24 55,375	H25 55,375	H26 55,375	H27 55,375	H28 55,375	計 276,875
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え 29 箇所の地区公民館事業については、中央公民館（豊岡地域）を中心に、周辺地域の地区公民館が連携し、学習活動やコミュニティ活動、防災活動等情報の共有を図る。						

(ウ) 生涯学習の推進（図書館）

【形成方針の内容】

取組の内容	生涯を通じた学習や教養を高める機会を提供するため、図書館ネットワークを活用し、サービスの向上を図る。
中心地域	(1) 図書資料の充実や、市立図書館と各分館との資料の相互活用を行い、希望図書の迅速な提供を図る。 (2) 図書館ネットワークの活用による図書館機能の強化や、「読み聞かせ」などの図書館サービスの充実に努める。
周辺地域	(1) 図書資料の充実や、市立図書館と各分館との資料の相互活用を行い、希望図書の迅速な提供を図り、利用を促進する。 (2) 図書館ネットワークの活用による図書館機能の強化や、「読み聞かせ」などの図書館サービスの充実に努める。

【具体的な取組内容】

事業名	図書整備事業					実施地域
事業概要	生涯学習の拠点として、多様化、専門化する学習要求に応える施設として図書資料の充実などを図り、更なる利用を促進する。					全豊岡市区域
成果						
市民の求める資料、専門書、郷土資料の充実により、さらなる利用者、貸出点数が見込まれ、生涯学習の拠点としての役割が果たせる。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	21, 000	22, 000	23, 000	20, 296	22, 000	108, 296
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
中心地域は、市立図書館を中核図書館として、多くの蔵書と専門図書、資料を所蔵し、さらに視聴覚サービス、障害者サービス機能も所管する。						
周辺地域は、地域に密着した図書館分館として、利用者が希望する図書、さらには周辺地域に関連した郷土資料を優先的に整備する。						

【具体的な取組内容】

事業名	図書館普及啓発事業					実施地域
事業概要	生涯学習の拠点として、本を通した親子のふれあいや絆づくりの場として、全ての市民の読書ニーズに応える施設として図書館事業の開催や障害者サービスを促進する。					全豊岡市区域
成果	すべての市民の読書ニーズに応える図書館として、多くの市民の利用が可能となる。					
事業費 (千円)	H24 550	H25 600	H26 650	H27 375	H28 450	計 2,625
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域は、市立図書館の中核施設として、全豊岡市区域を対象とした事業を企画・展開する。						
周辺地域は、周辺地域の市民、学校等を対象とした事業を企画・展開する。						

【具体的な取組内容】

事業名	読み聞かせ推進事業					実施地域
事業概要	生涯学習の拠点として、本を通した親子のふれあいや絆づくりの場として、乳児期、幼児期、児童期と系統立てた読み聞かせを推進し、本との親しみ、心豊かなひとづくり、愛情あふれる家庭作りを目指す。					全豊岡市区域
成果	親子のふれあいの場を創出し、絆づくりの場として、愛情あふれる家庭づくりに寄与できる。また、読書を通して得られる読解力や創造力、思考力をはぐくみ、子どもたちに知る喜び、考える楽しさ、相手を理解して思いやる心、さらには生涯にわたって自ら行動し困難を解決する力などが育まれる。					
事業費 (千円)	H24 1,600	H25 1,650	H26 1,700	H27 1,171	H28 1,300	計 7,421
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域は、市立図書館の中核施設として、全豊岡市区域、事業全体を統括し、分館調整、研修会、講演会、ボランティア育成などを実施。						
周辺地域は、各地域における具体的な事業を担当する。						

(エ) 子育て環境の充実

【形成方針の内容】

取組の内容	子育て支援の拠点である子育てセンターの積極的な活用を推進する。 就学前の教育・保育の充実を目指し、認定こども園の整備を進める。
中心地域	(1) 子育て総合センターと各子育てセンターとの連携を図り、子育て家庭を支援する取組を進める。 (2) 認定こども園の安定的な運営と保護者負担を軽減することにより、就学前の教育・保育の充実を図る。
周辺地域	(1) 子育て総合センターと各子育てセンターとの連携を図り、子育て家庭を支援する取組を進める。 (2) 認定こども園の安定的な運営と保護者負担を軽減することにより、就学前の教育・保育の充実を図る。

【具体的な取組内容】

事業名	子育てセンター運営事業					実施地域
事業概要	子育て総合センター及び子育てセンターにおいて、子育て相談、子育てグループ活動の支援、親子の交流体験活動、子育て講座等の子育て家庭を支援するための取組を進める。					全豊岡市区域
成果						
子育てセンターにおいて、主に在宅で乳幼児を抱える家庭の子育てを支援するため、乳幼児向けの子育て情報の提供、育児相談、子育ての仲間づくり・親子ふれあい活動等の事業を展開することにより、保護者の育児不安と子育ての負担感の解消につながる。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	11, 755	10, 000	10, 000	10, 000	10, 000	51, 755
国県補助事業等の名称、補助率等						
子ども・子育て支援交付金（国 1/3、県 1/3）						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域の豊岡市子育て総合センターを核として、周辺地域に整備した 5 カ所の子育てセンターと連携し、地域における子育て家庭を支援する取り組みを進める。 周辺地域の子育てセンターは、総合センターと連携し、地域における子育て家庭を支援する取り組みを進める。						

【具体的な取組内容】

事業名	認定こども園整備事業					実施地域
事業概要	より良い就学前の教育・保育の充実をめざし、「豊岡市における幼稚園・保育所のあり方」計画に基づき、八条幼稚園・城南保育園等、認定こども園の導入に向けた施設の整備を行う。					豊岡地域・日高地域 竹野地域・出石地域
成果	保護者の就労の有無により幼稚園・保育園に分かれることなく、一体的な施設において教育・保育が提供できるとともに、子育て家庭を対象に子育て支援の充実が図れる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	398,200	70,000	162,000	—	—	630,200
国県補助事業等の名称、補助率等 保育所緊急整備事業費補助金（県 1/2 または 2/3） 学校施設環境改善交付金（国 1/3） 認定こども園整備事業費補助金（県 1/2）						
地域間の役割分担に係る基本的な考え 「豊岡市における幼稚園・保育所のあり方」計画に基づき認定こども園導入に向けた事業展開を図るとともに、豊岡地域については、八条幼稚園・城南保育園及び港東幼稚園の認定こども園化に向けた施設整備を行う。また、みえ保育園の認定こども園化に向けた施設整備補助を行う。 周辺地域については、竹野認定こども園の平成 23 年度新設に伴う竹野保育園及び竹野・中竹野幼稚園舎の解体や、小野・小坂幼稚園と小坂保育園等の認定こども園化に向けた施設整備補助を行う。						

エ 産業振興

(ア) 経済全体の活性化や持続性の確保

【形成方針の内容】

取組の内容	環境都市「豊岡エコバレー」と「大交流」を実現するため、経済成長戦略を推進する。
中心地域	地域全体における戦略の進捗状況などを把握するとともに、周辺地域と連携して戦略（検討）プロジェクトを推進する。
周辺地域	中心地域と連携して戦略（検討）プロジェクトを推進する。

【具体的な取組内容】

事業名	ものづくり企業等支援事業					実施地域
事業概要	環境経済型事業（※）を中心に、製品・技術開発、起業・新分野進出、販路拡大などを支援するため、企業の提案を審査し、最大 300 万円の補助金を交付して企業競争力向上を図る。 ※環境を良くする効果をもたらし、かつ、利益を追求する事業					全豊岡市区域
成果						
豊岡市経済成長戦略（H21 策定）の数値目標の一つである製造品出荷額等 1,300 億円（H19 比 20%以上増加）を達成するとともに、これによる雇用増加により若年層の地元定着率を高め、人口減少下における経済成長を実現する。						
事業費 （千円）	H24	H25	H26	H27	H28	計
	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100,000
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域、周辺地域双方に所在する各企業の取り組みを促進するとともに、豊岡地域・周辺地域に所在する企業間連携による製品開発などを推進する。						

【具体的な取組内容】

事業名	労働力確保支援事業					実施地域
事業概要	企業ガイドブック作成、阪神間での兵庫県北部合同企業説明会の開催などにより、新卒者採用を希望する市内企業の情報を学生、U・I ターン希望者に提供し、労働者確保、若年層定着などを図る。					全豊岡市区域
成果	豊岡市経済成長戦略（H21 策定）の数値目標の一つである若年層地元定着率 90%（H17 比 14%アップ）を達成するとともに、優秀な人材を確保し、人口減少下における経済成長を実現する。豊岡市の特産業である鞆製造の担い手を育成し、産業振興及び保護を図る。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	2,500	2,500	2,500	21,518	21,518	50,536
国県補助事業等の名称、補助率等		地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金				
地域間の役割分担に係る基本的な考え		豊岡地域及び周辺地域は、双方に所在する各企業の採用活動を支援する。				

オ 観光

(ア) 観光の振興

【形成方針の内容】

取組の内容	観光協会をはじめとした関係団体との協力や他産業との連携を図るとともに、豊富な観光資源を活用したネットワークの形成を進め、魅力的な観光の取組を展開する。
中心地域	(1) 既存の観光資源と新たな観光素材を有機的に連携させた多彩な周遊ルートの形成やニーズに対応した観光資源の整備・充実に努める。 (2) 交流人口の増加と市内滞在時間の拡大を図るため、観光資源と自然や産業などを組み合わせた参加体験型・滞在型観光を推進する。
周辺地域	(1) 既存の観光資源と新たな観光素材を有機的に連携させた多彩な周遊ルートの形成やニーズに対応した観光資源の整備・充実に努める。 (2) 交流人口の増加と市内滞在時間の拡大を図るため、観光資源と自然や産業などを組み合わせた参加体験型・滞在型観光を推進する。

【具体的な取組内容】

事業名	観光資源整備・活用事業					実施地域	
事業概要	多様化する観光客ニーズに対応するため、観光資源の整備・充実や魅力アップに努めるとともに、適切・良好な維持管理と効果的な活用を図る。					全豊岡市区域	
成果							
観光誘客の促進とリピーターの拡大につながる。							
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計	
	38,425	11,000	11,125	9,660	9,660	79,870	
国県補助事業等の名称、補助率等							
地域間の役割分担に係る基本的な考え							
豊岡地域及び周辺地域は、観光資源の適切な維持管理と効果的な活用に努めるとともに、地域間相互案内やPRなどに取り組む。							

【具体的な取組内容】

事業名	体験・滞在型観光システム整備事業					実施地域
事業概要	教育旅行、修学旅行など体験・滞在型観光の受入れをめざし、システム構築や地域間連携の強化をはじめ、地域資源・素材の再発掘と整理、メニューの充実に取り組む。					全豊岡市区域
成果						
コウノトリ野生復帰の取組や山陰海岸ジオパークを活用した豊岡ならではの体験学習プログラムづくりを進めることで、教育旅行などの新たな誘客につながる。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	7,537	6,450	9,241	6,450	6,450	36,128
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域及び周辺地域は、体験メニューの充実や体験指導者・協力者の育成確保に取り組むとともに、地域間連携による受入れ体制の充実に努める。						

カ 環境

(ア) 環境保全への取組

【形成方針の内容】

取組の内容	環境創造型農業などの推進を図り、コウノトリも住むことができる豊かな自然環境の保全などに取組む。
中心地域	周辺地域と連携し、コウノトリの生息地保全をはじめ、自然環境の保存・再生・創造などについて積極的に取り組む。
周辺地域	中心地域と連携し、コウノトリの生息地保全をはじめ、自然環境の保存・再生・創造などについて積極的に取り組む。

【具体的な取組内容】

事業名	コウノトリ野生復帰事業					実施地域
事業概要	コウノトリも住むことができる豊かな自然環境と文化環境を保存・再生・創造していくため、コウノトリ野生復帰を核とした普及啓発や国内外への情報発信、子どもたちへの環境教育等を積極的に展開する。					全豊岡市区域
成果						
住民の視点で野生復帰推進事業を効果的に進めることにより、人と自然が共生する持続可能な地域づくりの実現が期待される。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	4, 260	4, 260	7, 721	5, 000	5, 000	26, 241
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域については、コウノトリの生息地拡大に伴い周辺地域への普及啓発を充実させるとともに、国内外への情報発信等を積極的に展開する。						
周辺地域については、豊岡地域と連携し普及啓発等を図る。						

【具体的な取組内容】

事業名	コウノトリ生息地保全対策事業					実施地域
事業概要	コウノトリの生息地保全を柱に、様々な環境活動団体が連携できる組織づくり、継続的な事業展開が可能な仕組みづくり、外部団体とのネットワーク形成、市民への普及啓発、環境教育の充実などの基盤整備を進める。					全豊岡市区域
成果	住民の視点で野生復帰推進事業を効果的に進めることにより、人と自然が共生する持続可能な地域づくりの実現が期待される。コウノトリも暮すことができる豊かな自然環境・文化環境を保存・再生・創造することができる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え 豊岡地域については、コウノトリの生息地拡大に伴い、これまでの取組から明らかになっている生息環境の整備・管理手法や地域づくりについて、周辺地域へ積極的に情報提供を行う。周辺地域については、中心地域と連携・協力し合い、地域に根ざしたコウノトリ野生復帰の取組の展開を図る。 豊岡地域と周辺地域が情報を共有しあい、さらなる事業の推進を図るためのネットワークを構築していく。						

キ 防災・消防

(ア) 防災・減災力の向上

【形成方針の内容】

取組の内容	地域防災計画に基づき、市の防災体制の強化や地域防災力の向上を図り、総合的な防災力の強化に努める。
中心地域	(1) 自主防災組織の育成及び強化を図るとともに、防災資機材や津波避難経路などの整備費に対する補助を行うことにより、地域防災力の充実強化及び避難対策を推進する。 (2) 災害発生時における円滑な避難行動に資するため、地理情報システム（GIS）を活用し、被害情報などの効率的な収集と共有化を図るとともに、最新のハザードマップの作成や防災情報の周知を図る。 (3) 出前講座や防災ワークショップなどを積極的に実施し、市民や地域の災害対応能力の向上を図る。
周辺地域	(1) 自主防災組織の育成及び強化を図るとともに、防災資機材や津波避難経路などの整備費に対する補助を行うことにより、地域防災力の充実強化及び避難対策を推進する。 (2) 災害発生時における円滑な避難行動に資するため、地理情報システム（GIS）を活用し、被害情報などの効率的な収集と共有化を図る。 (3) 出前講座や防災ワークショップなどを積極的に実施し、市民や地域の災害対応能力の向上を図る。

【具体的な取組内容】

事業名	自主防災育成対策事業					実施地域
事業概要	自主防災組織の育成及び強化のため、資機材整備事業費補助やリーダー研修を実施する。					全豊岡市区域
成果	自主防災組織の育成強化を推進することにより、地域の防災力の向上が図られる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	5,297	5,830	4,340	4,770	4,770	25,007
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域及び周辺地域は、自主防災組織の育成を行い、防災意識を高めるとともに、防災資機材の整備を全豊岡市区域で推進する。リーダー研修については、全豊岡市区域において持ち回りで実施する。						

【具体的な取組内容】

事業名	防災の資機材・津波避難経路等の整備支援					実施地域
事業概要	津波避難対策の推進のため、津波避難用の担架、津波避難場所標柱・標示板を整備するほか、地域が主体となる津波避難路整備への補助を行う。					全豊岡市区域
成果	津波避難に対する整備が進むとともに住民の避難意識の向上につながる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	5,816	—	—	—	—	5,816
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域及び周辺地域において、津波避難経路などの整備費に対する補助を行うことにより、地域防災力の充実強化及び避難対策を推進する。						

【具体的な取組内容】

事業名	地理情報システム（GIS）の活用					実施地域
事業概要	統合型GISを活用した最新のハザードマップの公開等による防災啓発の推進、地図情報によるわかりやすい災害情報の提供等を図る。					全豊岡市区域
成果	最新の災害危険箇情報等の提供、わかりやすい災害情報の提供等を行うことにより、地域防災力の強化を図ることができる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	28,200	22,500	2,754	2,754	2,754	58,962
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域は、地理情報システムの整備を行うとともに、災害時において周辺地域と連携して情報を集約し、防災対応を強化する。						
周辺地域は、地理情報システムを活用し、豊岡地域や他の地域との情報共有を行い、連携を強化する。						

(イ) 消防力の強化

【形成方針の内容】

取組の内容	さまざまな自然災害や、大規模・複雑化する火災や事故に対応するため、消防・救急体制を充実する。
中心地域	消防救急デジタル無線設備の整備をはじめ、高規格救急自動車や消防ポンプ自動車など、消防設備・施設の定期的な更新を行い、消防力の強化を図る。
周辺地域	消防救急デジタル無線設備の整備をはじめ、高規格救急自動車や消防ポンプ自動車など、消防設備・施設の定期的な更新を行い、消防力の強化を図る。

【具体的な取組内容】

事業名	消防救急デジタル無線設備の整備					実施地域	
事業概要	現行の消防救急無線の使用周波数帯を、150MHz 帯から 260MHz 帯に移行するとともに、アナログ方式からデジタル方式に変更するもの。 移行期限 平成 28 年 5 月 31 日					全豊岡市区域	
成果							
無線チャンネル数が増加するため、消防活動用、救急活動用などの個別運用を行うことにより、輻輳の回避など効率的な部隊運用が可能となる他、秘匿性の向上により、個人情報等通信内容の保護も可能となる。							
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計	
	10, 000	9, 540	661, 179	369, 438	—	1, 050, 157	
国県補助事業等の名称、補助率等							
緊急防災・減災事業債							
地域間の役割分担に係る基本的な考え							
豊岡地域は、消防救急デジタル無線設備を整備し、周辺地域の消防分署、出張所間とはもとより各市消防団との連携を図り、救急時や災害時における通信体制を確保する。							

【具体的な取組内容】

事業名	高規格救急自動車の整備					実施地域
事業概要	消防施設整備計画に基づき車両更新を行うとともに、高度な救命処置に対応するため、救急資器材についても新規に整備する。					竹野地域 ・豊岡地域
成果	車両及び救急資器材を更新整備することにより、救命率の向上と後遺症の軽減に寄与する。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	—	—	58,310	—	—	58,310
国県補助事業等の名称、補助率等		緊急消防援助隊設備整備費補助金 補助率 1/2 がんばる地域交付金 過疎債				
地域間の役割分担に係る基本的な考え		豊岡地域及び周辺地域に高度な救急活動に対応する施設・設備の整備を行い、救命率の向上と後遺症の軽減を図る。				

【具体的な取組内容】

事業名	消防ポンプ自動車の整備					実施地域
事業概要	消防施設整備計画に基づき、車両の更新及び資機材の整備を行う。					城崎地域・豊岡地域
成果	消防施設を整備し消防力を強化することで、火災をはじめとする各種災害への対応が可能となり、もって市民の「安全・安心」が確保できる。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	—	—	49,000	—	77,000	126,000
国県補助事業等の名称、補助率等		緊急消防援助隊設備整備費補助金 補助率 1/2 がんばる地域交付金				
地域間の役割分担に係る基本的な考え		豊岡地域及び周辺地域に各種災害に対応可能な消防ポンプ自動車を整備することで消防力を強化し、消防体制全般の充実と強化を図る。				

(ウ) 本庁と支所の役割分担、連携強化

【形成方針の内容】

取組の内容	誰もが利用しやすく、環境に配慮した庁舎を目指すとともに、併せて市民を守る防災拠点としての機能も整備し、災害時の本庁と支所との連携強化を図る。
中心地域	本庁舎の整備により、中心地域はもとより市域全体の市民サービスの向上を図るとともに、災害発生時には本庁に災害対策本部を設置し、周辺地域の支所、防災組織、関係機関とも連携し、速やかに対応できる体制を構築する。
周辺地域	周辺地域は、地域に根ざしたまちづくりを推進するとともに、災害発生時には本庁や地域の防災組織などと連携し、速やかに対応できる体制を構築する。

【具体的な取組内容】

事業名	新庁舎建設推進事業					実施地域
事業概要	本庁舎は昭和２年に建築され、老朽化、耐震性の問題、また、市町合併により本庁機能を有することになったことによる事務室が分散化、狭隘化が要因による市民の利便性、事務の効率化に支障をきたしている。そのため、誰もが利用しやすく、環境に配慮した新庁舎を目指すとともに、併せて市民を守る防災拠点としての機能も整備する。					全豊岡市区域
成果						
本庁舎の機能充実、市民サービスの向上が図られるとともに、防災拠点として災害に強いまちづくりに寄与する。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	5,185,529	799,000	—	—	—	5,984,529
国県補助事業等の名称、補助率等						
合併特例債			95%			
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
庁舎（豊岡地域）の整備により、周辺地域への市民サービスの向上を図るとともに、災害発生時に災害対策本部を設置し、周辺地域の支所、防災組織、関係機関と連携し、速やかに対応を図る。 支所（周辺地域）については、地域に根ざしたまちづくりを推進するとともに、災害発生時には本庁（新庁舎）や地域の防災組織等と連携し、速やかに対応を図る。						

（２）結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通の確保

（ア）バス交通の充実と利用促進

【形成方針の内容】

取組の内容	市民ニーズや地域の実情にあったバス交通のあり方を検討するとともに、一層の利用促進を図る。 また、交通不便地域における地域の公共交通を維持する取組を支援する。
中心地域	市営バス「イナカー」、市街地循環バス「コバス」などが役割分担しながら、地域内の地域公共交通の確保を図る。
周辺地域	市営バス「イナカー」、地域主体の公共交通「チクタク」などが役割分担しながら、地域内の地域公共交通の確保を図る。

【具体的な取組内容】

事業名	市営バス「イナカー」運行事業					実施地域
事業概要	路線バスが運行していない地域において市営バス「イナカー」を運行する。					全豊岡市区域
成果	車などの移動手段を持たない高齢者や児童生徒の通院や通学などの日常生活に必要な移動手段が確保される。					
事業費 (千円)	H24 53,072	H25 53,072	H26 53,072	H27 53,072	H28 53,072	計 265,360
国県補助事業等の名称、補助率等		地域公共交通確保維持改善事業費補助金（国 1/2） バス対策（コミュニティバス運行）費補助金（県 1/10）				
地域間の役割分担に係る基本的な考え		周辺地域内の移動及び病院や高校など日常生活に必要な機関が集積する豊岡地域への移動手段を確保するとともに、周辺地域間を結ぶ路線バス及び鉄道等への接続を図る。				

【具体的な取組内容】

事業名	市街地循環型バス「コバス」運行事業					実施地域
事業概要	高齢者や障害者などの日常生活に必要な移動手段を確保するため、市街地循環バス「コバス」を運行する。					全豊岡市区域
成果						
車などの移動手段を持たない高齢者や障害者などの通院や通勤などの日常生活に必要な移動手段が確保される。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	12,602	12,602	12,602	12,602	12,602	63,010
国県補助事業等の名称、補助率等			バス対策（コミュニティバス運行）費補助金（県 1/10）			
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
病院や高校など日常生活に必要な機関が集積する豊岡地域内における移動手段を確保するとともに、周辺地域間を結ぶ路線バス及び市営バス「イナカー」並びに鉄道等への接続を図る。						

【具体的な取組内容】

事業名	地域主体の公共交通「チクタク」運行事業					実施地域
事業概要	路線バスやコミュニティバスなどが運行されていない交通不便地域において、地域が主体となり地域の方の移動手段を確保するため、地域主体の公共交通「チクタク」を運行する。					出石地域・但東地域
成果						
車などの移動手段を持たない高齢者の、通院や買い物などの日常生活に必要な移動手段が確保される。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	4, 563	4, 563	6, 084	6, 084	6, 084	27, 378
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
周辺地域内の移動手段を確保するとともに、周辺地域間を結ぶ路線バスへの接続を図る。						

イ 道路網の整備

(ア) 道路環境の整備

【形成方針の内容】

取組の内容	交通渋滞の緩和を図るとともに、災害など緊急時の動線や救命・救急医療拠点へのアクセスを確保するため、地域間をつなぐ道路や生活道路などの整備を進めるとともに、長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の長寿命化を図る。
中心地域	(1) 市内外を結ぶ道路ネットワークを強化するため、道路防災対策工事や橋梁の耐震化などを図るとともに、バイパス道路の整備や未改良区間の道路改良など利便性の高い道路の整備を促進する。 (2) 冬期間における幹線市道や通学路の歩道の交通を確保するため、市民の協力を得て効率的な除雪に努めるとともに、排雪体制の強化を図る。
周辺地域	(1) 市内外を結ぶ道路ネットワークを強化するため、道路防災対策工事や橋梁の耐震化などを図るとともに、バイパス道路の整備や未改良区間の道路改良など利便性の高い道路の整備を促進する。 (2) 冬期間における幹線市道や通学路の歩道の交通を確保するため、市民の協力を得て効率的な除雪に努めるとともに、排雪体制の強化を図る。

【具体的な取組内容】

事業名	幹線・生活道路整備事業					実施地域
事業概要	幹線・生活道路の主な整備路線 阿金谷轟線、福田宮井線、鷺田線外 17 路線					全豊岡市区域
成果	交通混雑の緩和、安全な交通環境の確保、災害などの緊急時動線や救命・救急医療拠点へのアクセスを確保が図られ、地域間をつなぐ道路や生活道路の道路環境が整備される。					
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	159,500	335,000	521,000	453,807	347,400	1,816,707
国県補助事業等の名称、補助率等 社会資本整備総合交付金、合併特例債						
地域間の役割分担に係る基本的な考え 豊岡地域及び周辺地域において、広域的な道路網の構築、災害時の避難路となる防災機能をもった道路、生活に密着した道路等を整備し、安全・安心な道路整備を推進する。						

【具体的な取組内容】

事業名	豊岡市除雪機緊急整備事業					実施地域
事業概要	市内の区（自治会）が、共助により市道、生活道路等の除雪を行うために購入する除雪機について、その購入経費の一部を補助する。					全豊岡市区域
成果						
市の除雪路線以外の道路除雪等を区の共助により行うことの意識付けを行い、地域の生活環境の向上、安全に安心して暮らせるまちづくりを行う。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	10, 000	20, 000	20, 000	20, 000	－	70, 000
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域は、市道・生活道路等の除雪を行う自治会に対し、除雪機購入のための補助を行い、地域住民が安全に安心して暮らせるよう支援する。						
周辺地域は、除雪機購入補助制度の周知を図り、地域住民が安全に安心して暮らせるよう支援する。						

ウ 交流・移住促進

(ア) 定住の促進

【形成方針の内容】

取組の内容	豊かな自然環境や風土を活用した豊岡のまちづくりの取組を広くPRし、観光資源や農山漁村資源の活用による交流人口の拡大と若者を中心とした定住者の増加を図る。
中心地域	(1) 「空き家バンク制度」や「空き家改修費助成制度」を推進するとともに、市内外に向けて事業の周知を図る。 (2) 若者の定住促進を図るとともに、バスの利用を促進するため、高校生の通学にかかるバスの定期券購入代金の一部を支援する。
周辺地域	(1) 「空き家バンク制度」や「空き家改修費助成制度」を推進する。 (2) 若者の定住促進を図るとともに、バスの利用を促進するため、高校生の通学にかかるバスの定期券購入代金の一部を支援する。

【具体的な取組内容】

事業名	定住促進事業					実施地域
事業概要	空き家バンク制度による情報提供や田舎暮らし体験施設の利用、中山間地域定住促進事業（空き家改修）補助金の交付を通じて、移住希望者が本市へ定住するよう進める。					全豊岡市区域
成果	田舎暮らしを望む移住希望者の定住を進めることで、人口減少に歯止めをかける。					
事業費 (千円)	H24 6,300	H25 6,300	H26 3,300	H27 3,951	H28 300	計 20,151
国県補助事業等の名称、補助率等						
過疎債						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域については、全豊岡市区域に向けて事業の周知を図るとともに、地域内で増加する空き家に対して、それぞれの地域事情も勘案しながら本事業を展開し定住を進める。 周辺地域については、地域内で増加する空き家に対して、それぞれの地域事情も勘案しながら本事業を展開し、若者を中心とした定住を進める。						

【具体的な取組内容】

事業名	高校生通学定期券の購入補助					実施地域
事業概要	高校生が通学に利用するバス定期券購入に要する費用の一部を補助することにより、高校生の定住促進及び公共交通利用促進を図る。					全豊岡市区域
成果						
高校生の定住促進及び公共交通利用促進を図ることで、定住及びU I J ターンを推進し、人口減少に歯止めをかける						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	9, 700	9, 700	16, 000	16, 000	16, 000	67, 400
国県補助事業等の名称、補助率等						
過疎債						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡地域は、遠方からバスを利用して通学する高校生のために定期購入補助を行い、高校生が安全に安心して通学できる環境を整備するとともに、バス交通の利用を促進する。 周辺地域は、高校生が安全に安心して通学できるようバス通学定期券の購入補助制度の周知を図るとともに、バス交通の利用を促進する。						

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア 人材の育成

(ア) 圏域の職員育成

【形成方針の内容】

取組の内容	自治体経営の感覚や能力、市民への高いサービス意識など、地方分権の時代に対応できる個々の職員の力を開発し、向上させるとともに、地域防災力を強化するため、市職員を対象に研修などを実施する。
中心地域	(1) 市職員を対象に、自主研修や内部研修、派遣研修などを行い、個々の能力や資質を向上させ、職員の意欲と能力を高める。 (2) 防災力強化のため、防災研修や防災訓練を実施する。
周辺地域	(1) 職員研修などに積極的に参加し、個々の能力や資質を向上させ、職員の意欲と能力を高める。 (2) 防災力強化のため、防災研修や防災訓練を実施する。

【具体的な取組内容】

事業名	職員研修事業					実施地域	
事業概要	地域内の市職員を対象に、自主研修や内部研修を行い、個々の能力、資質を向上させ、職員の総合力を高める。					全豊岡市区域	
成果							
個々の能力、資質が向上し、職員の総合力が高められる。							
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計	
	11, 777	10, 226	10, 846	16, 998	10, 000	59, 847	
国県補助事業等の名称、補助率等							
地域間の役割分担に係る基本的な考え							
全豊岡市区域の市職員を対象に、自主研修や内部研修を行い、個々の能力、資質を向上させ、職員の総合力を高める。							

【具体的な取組内容】

事業名	防災・危機管理研修事業					実施地域
事業概要	地域防災力強化のための子ども防災監養成講座、市の防災力強化のための職員研修を実施する。					全豊岡市区域
成果						
将来の地域の防災リーダーとなるべき子どもたちの教育や職員の防災力を高めることにより、市全体の防災力の強化が図られる。						
事業費 (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	計
	374	379	179	179	179	1,290
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域間の役割分担に係る基本的な考え						
全豊岡市区域の防災力強化のために、職員研修及び子ども防災監養成講座を実施する。						